

メル 国際派日本人養成講座

2015年6月28日版

光も音もない世界で 生きる意味を問う

目も見えず、耳も聞こえない 東大教授が問いかける生きる意味とは。

「国際派日本人養成講座」
(http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/jogindex.htm) では、毎週、新しいコラムが紹介されています。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心をもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方々や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。(ニッケイ新聞編集部)

1. 「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」

月刊誌「致知」を読んでいて「へえ、こんな人がいるのか」と驚かされた。盲聾者、すなわち目も見えず耳も聞こえないながら、東大教授をされているという福島智氏である。

2. 極限状態の意味は？

ちょうど、福島さんの最新著『ぼくの命は言葉とともにある』が出て、アマゾンでも高い評価を得ていた。早速読んでみた。それによると福島さんの障害は幼児の頃から徐々に進んだという。

原因不明の病気によって右目を失明したが三歳のときです。また幼く感傷はほとんどありませんでしたが、九歳で左目も見えなくなるときは、さすがに「ぼくはどうか、周りのみんなとは違う世界で生きることになったなあ」と思ったもので

しかし、もともと私は楽天的で切り替えも早かった。視力を失っても音の世界がある、耳を使っても外界とつながることができる、と考えていました。そして実際、音楽やスポーツ、落語などに夢中になって過ごしました。

ところが、その音自体もだんだん怪しくなってきた。十四歳の頃に右耳がほとんど聞こえなくなり、十八歳のときには残された左耳も聞こえなくなりました。[2. p.18]

光と音を奪われ、暗黒と沈黙の宇宙にただ一人漂っているような状態、不安と恐怖に包まれた日々を過ごした。家族との会話も難しく、ラジオもテレビも聞こえないなかで、ひたすら点字の本を読み、点字で日記や手紙を書いて、自分が直面している極限状態の意味について考える日々が続いた。

4. 「態度価値」

大学で、福島さんが自分の使命を探求する過程で出会ったのが、オーストリアの精神医学者ウィクトール・E・フランクルの「態度価値」という考え方だ。



福島智 著『ぼくの命は言葉とともにある』

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

戦争が終わって29年後にフィリピン人のラング島にあるジャングルで見つけた小野田寛雄さんとは、その29年間の「孤独感」「度も感じない」と語った上で、その理由として次のような趣意をおっしゃったそう。「今まで生かされてきた中で多くの人から教えをいただき、この身体をいただいて自分は成り立っているのだから、自分は「人ではない」と。



小野田寛雄(右)と弟の小野田滋郎

「モスクワ共同」ロシ 主権を主張する北方四島の経済発展状況を視察する。自ら訪問することで政権を明らかにした。具体的には、強硬姿勢を打ち出し、日本からの反発は必

口首相が北方領土訪問か 実効支配誇示へ強硬姿勢

【モスクワ共同】ロシ 主権を主張する北方四島の経済発展状況を視察する。自ら訪問することで政権を明らかにした。具体的には、強硬姿勢を打ち出し、日本からの反発は必

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

戦争が終わって29年後にフィリピン人のラング島にあるジャングルで見つけた小野田寛雄さんとは、その29年間の「孤独感」「度も感じない」と語った上で、その理由として次のような趣意をおっしゃったそう。「今まで生かされてきた中で多くの人から教えをいただき、この身体をいただいて自分は成り立っているのだから、自分は「人ではない」と。

6. 「生涯忘れない」と語った 米軍女性パイロット

この態度価値を發揮するのは、小野田さんのような特別な人ばかりではない。作家の百田尚樹氏は、知人から次のような東日本大震災時のエピソードを聞いたという。

美しい眺めです。——青色の綿布をよじって腰にまきつけた褐色の男たちが海中に立ち、銀色の魚がいっぱい踊る網を延ばしている。……さてこれからは、子供たちの収穫の時です。そして子供ばかりでなく、漁に出る男のいなあわねに集まり、彼らがくれるものを食べる小さな鯉や鰻をさし出すのです。そして、食用にふさわしくとも市場に出すほどの良くない魚はすべて、この人たちの手に渡ります。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

戦争が終わって29年後にフィリピン人のラング島にあるジャングルで見つけた小野田寛雄さんとは、その29年間の「孤独感」「度も感じない」と語った上で、その理由として次のような趣意をおっしゃったそう。「今まで生かされてきた中で多くの人から教えをいただき、この身体をいただいて自分は成り立っているのだから、自分は「人ではない」と。

7. 幸福だった我が先人たち

国家レベルで考えれば、近代の創造価値のトップランナーは英国だった。産業革命で近代工業を生み出し、7つの海を支配する大帝國を築き上げた。創造価値の次元では、江戸時代の日本はとうとう英国にかなう存在ではなかった。しかし、その英国から明治初年の日本を訪れた人々は、当時の日本人の暮らしぶりに目を見張ったのである。

「ぼくの命は言葉とともにある」(1) 福島智 北方謙三 対談「運命を切りひらく」、致知 平成27年。(2) 福島智「ぼくの命は言葉とともにある」、致知出版社、平成27年。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

戦争が終わって29年後にフィリピン人のラング島にあるジャングルで見つけた小野田寛雄さんとは、その29年間の「孤独感」「度も感じない」と語った上で、その理由として次のような趣意をおっしゃったそう。「今まで生かされてきた中で多くの人から教えをいただき、この身体をいただいて自分は成り立っているのだから、自分は「人ではない」と。

8. 我が先人たちの叡知

ほんの百数十年前の我が先人たちの姿である。当時の日本人は貧しくとも、互いに礼儀正しく思いやりをもって暮らしていた。そういう生き方が暮せへの道であるという叡知を我が先人たちは持っていた。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

戦争が終わって29年後にフィリピン人のラング島にあるジャングルで見つけた小野田寛雄さんとは、その29年間の「孤独感」「度も感じない」と語った上で、その理由として次のような趣意をおっしゃったそう。「今まで生かされてきた中で多くの人から教えをいただき、この身体をいただいて自分は成り立っているのだから、自分は「人ではない」と。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

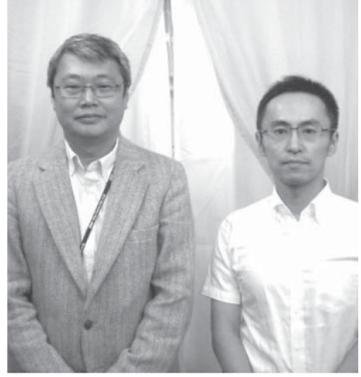
「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

戦争が終わって29年後にフィリピン人のラング島にあるジャングルで見つけた小野田寛雄さんとは、その29年間の「孤独感」「度も感じない」と語った上で、その理由として次のような趣意をおっしゃったそう。「今まで生かされてきた中で多くの人から教えをいただき、この身体をいただいて自分は成り立っているのだから、自分は「人ではない」と。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

「自分の人生においても、とにかく立ち続けたい」とは、こういう姿勢だ。昭和58(1983)年の春、福島さんは東京都立大学(現・首都大学東京)の文学部に20歳で入学した。盲聾者としては日本で初めての大学進学だった。指文字で他者の発言や周囲の状況を伝えてくれる通訳・介助のボランティアの人々に支えられながら、大学に通った。

NHK聖支局長 中島さんが帰国 後任に藤本雅也さん



中島さん(左)と藤本さん

NHKサンパウロ支局長の中島昇さん(47、愛知)が今月で帰国するにあたり、10日に後任の藤本雅也さん(36、広島)と共に本紙にあいさつに訪れた。

2013年6月からの2度目の伯国赴任を終えた中島さんは、「二度目(04〜07年)は経済成長が著しい時代だった。二度目はゆるやかに下がる一方だった。二面性を見るのが参考になった」と振り返り、「通信技術の発達により映像ニュースの配信コストが下がった。コロナの話題を送る頻度も多くなった」と時代の変化に言及した。帰国後は本社

4千株のつじが見ごろ グアルーリョスで2日

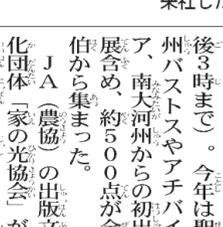


坂和副会長(左端)ら

あけぼのホームとやすらぎホーム共催の「第37回つじ祭り」が8月2日午前9時から、グアルーリョス市の両ホーム(Rua Azeiteo Ruivo, 377, Sítio Sao Francisco)で行なわれ、入場、駐車場無料。入居者家族による寄贈で植えられたもので、沢山のつじが咲き誇り、花や葉の香りも楽しめる。入居者家族による寄贈で植えられたもので、沢山のつじが咲き誇り、花や葉の香りも楽しめる。

順、あけぼのホームの安武誠副会長、広報の森本万理奈さんが来社し、「株の販売もありませう。入居者との交流もぜひ」と呼びかけた。当日は午前8時から同10時まで、リベルダーデ区三重県橋(Rua da Gloria, 400)付近から送迎バスが運行する。問い合わせは協賛(1-3274-6555)まで。やすらぎホーム(同・2480-1788)・あけぼのホーム(同・2480-0553)まで。

子どもの絵50点を展示 優秀作は家の光コンテストへ



来社した皆さん

農協婦人部連合会(ADESC)と文協が共催する「第23回子ども絵画展」が7月31日〜8月2日まで、同文協日系美術館(Rua Sao Joaquin, 381, Itaipava)で開催される。入場無料。開催時間は午前10時〜午後5時(最終日は午後3時まで)。今年は聖州バスターズやアチパイア、南大河州からの初出展を含め、約500点が全伯から集まった。

東京・サンパウロ・リオ ビジネスの現場から 日伯コンサル 奮闘日記

7月23日木曜日のことである。日本のある金融サイト向けにブラジル経済情報の原稿を書くため、ネットで様々な情報を検索していたら、「日本経済新聞社がフィナンシャル・タイムズ(以下FT)を買収」という記事が流れてきて、思わずあつと叫んでしまった。

日経のFT買収とブラジルの未来

FTは世界中で読まれているグローバルメディアの一つで、各国の政治経済のリーダーも読んでおり、影響力が大きい。FTは世界中で読まれているグローバルメディアの一つで、各国の政治経済のリーダーも読んでおり、影響力が大きい。

それに、大臣は面白いコメントをしている。FTはいつもブラジルの悪い面ばかりを見て、と前置きをした上で、ゼネコンのトップが起訴されていることは事実だが、ブラジルの各種機関は問題を解決するために苦闘している。FTの見方は間違っており、ブラジルは、ホラー映画ではなく、スパーアクションムービーだ」と語っている。だから、当然次々と難局を迎えるわけだが、それをこれまで乗り越えてきた。実際にこの3年間も経済成長をしており、中間層も拡大し、生活は安定してきている。今は世界経済が苦しいだけに、かつての大統領に比べて、ジルマ大統領のやり方に

小説 **宿世の縁** まついたろう 松井太郎 (11)

宿世の縁 (二統)

松山太一は、ひと月ほど前に、亡妻の一回忌をどのように行なうかについて考えていたのに、息子からその件について聞かれたときは、すっかり度忘れをしていた。彼には折々このような現象がおきるようになっていた。いまさらのように慌てた太一は、前にも世話になった嫁の兄に、坊さんの都合をきいてくれるよう頼んだ。千恵の命日は坊さんの旅行の日程とかさなるので、帰ってからということになった。日がきまると太一は疎遠にしている弟妹たちに、「一応は法要をしろすことにした。父より義絶されている彼に、一許す」との父のことばのなかつた以上、総領ではあるが、出来るものな半端者として、出てゆけよがしに、分家をお願いしたところ、それもゆるされず、ついに勘当までされて、妹(やりとり婚で故人の弟の嫁になっている)との義理の縁によって、ほそほそながらの交際があったので、一応ほかの弟妹たちにも知らせてくれと頼んだのが、後をひくようになったのである。法要は平日で午後七時という事情もあってか、太一のほうは故人の弟のほかに誰の出席もなかった。なにも含まれるところもない千恵さえ、この有様ではおれの場合とは、つい太一は苦笑がわいてくるのであった。

南米神宮 紙面の都合により、本日の連載「百年の水流」は休載します。

「うん」 Rは口下手なところがあって、うなるような声をだすと、自分の態度のとりようにも困惑したように、太一にちよつと頭をさげ、仲間の群れにはいっていった。形式だけの悔やみの言葉よりも、Rの愚鈍ともとれる肯定のほうか、寂寥の滴となつて太一の胸にしみた。 「はい、もうおらんよ」 「うん」 Rは口下手なところがあって、うなるような声をだすと、自分の態度のとりようにも困惑したように、太一にちよつと頭をさげ、仲間の群れにはいっていった。形式だけの悔やみの言葉よりも、Rの愚鈍ともとれる肯定のほうか、寂寥の滴となつて太一の胸にしみた。 「はい、もうおらんよ」 「うん」 Rは口下手なところがあって、うなるような声をだすと、自分の態度のとりようにも困惑したように、太一にちよつと頭をさげ、仲間の群れにはいっていった。形式だけの悔やみの言葉よりも、Rの愚鈍ともとれる肯定のほうか、寂寥の滴となつて太一の胸にしみた。 「はい、もうおらんよ」

サンパウロ日伯援護協会 リベルダーデ医療センター ENKYO

内科受付時間 月〜金 08:00〜18:30 土 08:00〜12:00

人間ドック、各種臨床検査、専門科、歯科

各種健康保険取り扱い済み (国際健康保険含む)

日本語の診断書を発行します (人間ドックのみ)

お問合せ: (11) 3274-6555 ご予約: (11) 3274-6508 人間ドック: (11) 3274-6495 歯科: (11) 3274-6501

援護会員募集中! 会員課: (11) 3274-6494

Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP www.enkyo.org.br

サンパウロ日伯援護協会 日伯友好病院 ENKYO

最新設備と専門スタッフを備えた 日伯友好病院は真心込めた医療を あなたへお届けします

24時間受付 内科・外科・小児科・整形外科・心臓内科

日本語対応しています

各種健康保険取り扱い済み (国際健康保険含む)

日伯友好病院行きバスのご案内 地下鉄Tatuapé駅発 172X-10 地下鉄Santana駅発 271M-10 Dom Pedro II公園発 272N-10

Tel: (11) 2633-2200/2282 Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo www.hospitalnipo.org.br

Shiatsu 指圧・整体・鍼灸で 腰痛ヒザの痛み、首の痛み、坐骨神経の痛み Prof. Minoru Kohakura Tel: (11) 3262-0835 Av. Paulista, 509 Sala 7 (メトロ・プリガティ近)

泌尿器科専門 医学博士 山田レナット Dr. RENATO YAMADA Consultório Médico 《診療時間》月・火・木曜/午後1時30分〜4時 《Praça Amadeu Amaral, 47 - 12º and. Vela Bista - São Paulo - SP Tel/Fax: (11) 3251-0051 / 3251-4276

NEOVISIE Oftalmologia 中野眼科 ブラジル眼科学会 認定の眼科専門医

白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対しての網膜病、レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術

CIRURGIA de CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER

日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。 Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。

www.nikkeishimbun.com.br ニッケイ新聞 NIKKEI SHIMBUN

【営業時間】 月曜〜金曜日: 祝日を除く 午前9時〜午後4時 (11) 3340-6060

Rua da Glória, 332 Liberdade CEP 01510-000 São Paulo - SP

【購読】 nikkeishimbun@yahoo.com.br

【広告】 anuncio@nikkeishimbun.jp

